この製品の仕様・寸法図は
126
ページ
→

リース／販売

二重ロック式吊り治具

鉄筋吊りクランプ

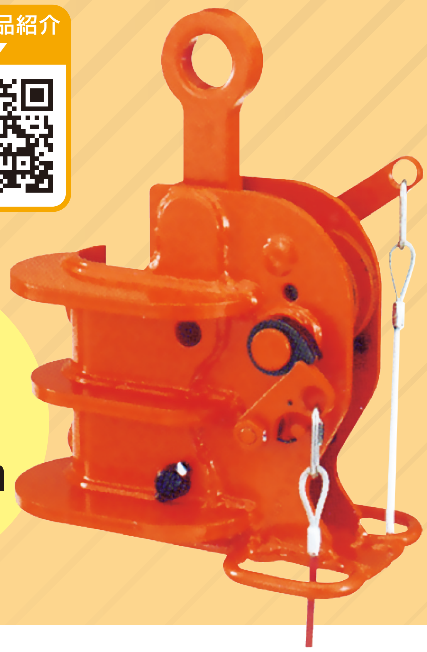
HP製品紹介
▼

Point ① ワンタッチロック（安全な2重ロック機構）

Point ② 誤操作軽減（強化ガイド）

Point ③ 遠隔操作で簡単取り外し

クランプ
最大使用荷重
1.5ton



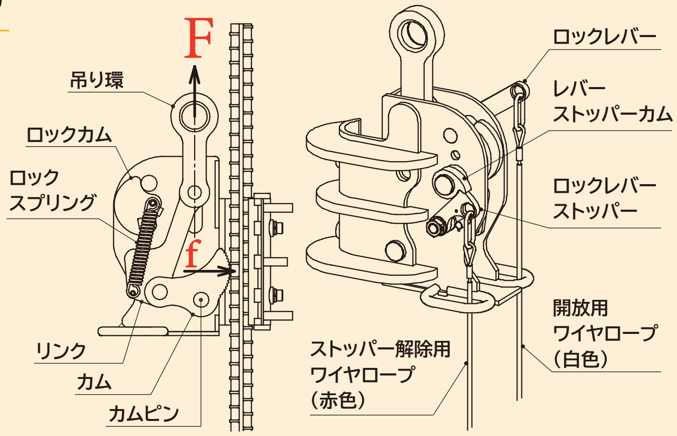
＼鉄筋棒のズレ・落下事故を防ぐ安全機構！／

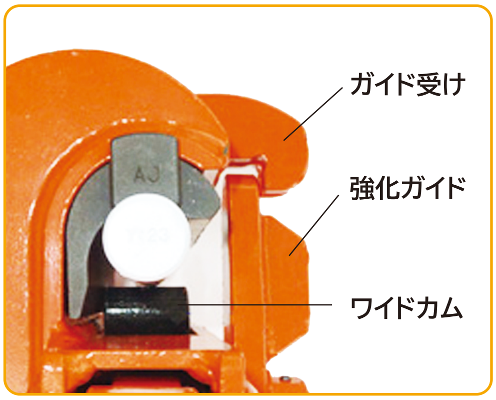
ここが便利

レバー式ロック装置（締め付け開放機構）

ロック装置のロックカムがカム用リンクを押し上げる構造なので、吊り環を引っ張っても締め付け用カムが閉じることはないため必ずロック装置を作動させなければなりません。
ロックレバーをロック位置に押し込みセットすると、スプリング張力により締め付け用カムが開口部にせり出し、吊り荷を押し付ける機構です。

※吊り環にかかる力（F）はリンクによってカムに加わる。
カムに掛かった力は、カムを支点とする締付力（f）で吊り荷を締め付ける。


F
吊り環
ロックカム
ロック
スプリング
f
リンク
カム
カムピン
ロックレバー
レバー
ストッパーカム
ロックレバー
ストッパー
開放用
ワイヤロープ
（白色）
ストッパー解除用
ワイヤロープ
（赤色）


ガイド受け
強化ガイド
ワイドカム

対応可能鉄筋径
D19～D41（ϕ18～ϕ48）

ここが便利

二重ロック機構

ロックレバーをロック位置まで押し込むとロックレバーと連動しているレバーストッパーカムがロックレバーストッパーに動きを制御されるため、ロックレバーだけでは開放できない二重ロック機構です。

ここが便利

遠隔操作でクランプの開放・取り外しが可能！

2本の操作ワイヤロープを引くことにより自動開放が可能。
ワイヤの長さは通常6m（最長9m）。
長さに指定がある場合はお問い合わせください。

クランプ

鉄筋吊りクランプ

リース／販売　　型番：CSBL

HP製品紹介

□ ラインナップ

製品名	型番
鉄筋吊りクランプ	CSBL-1.5

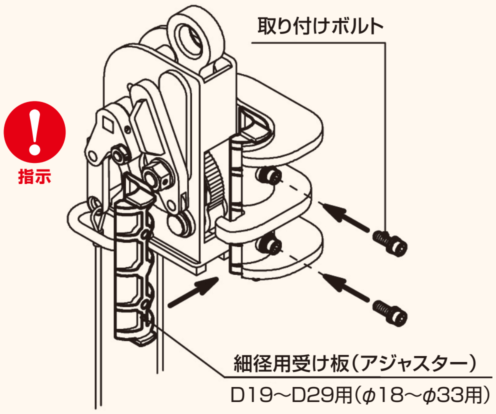
製品仕様

使用可能鉄筋径	D19～D29（φ18～φ33）　アジャスター付 D32～D41（φ32～φ48）　アジャスター無
最大使用荷重	1.5ton

注意事項

- **最大使用荷重（1台/1.5t）を超える吊り荷でのご使用は厳禁です。**
- **丸棒・パイプなどを吊る場合は最大使用荷重の1/5未満（0.3t未満）のものは使用出来ません。**
- **推奨する吊り角度を超えて使用しないでください。**
- **建て起こし作業時に滑車を使用しない場合に吊り荷が落下する危険があります。**

- 鉄筋径を確認いただき、径に合った仕様にてご使用ください。
- 建て起こし作業がある場合は必ず滑車をご使用ください。
- 滑車等を使用して、均等に荷重がかかるように使用していただける場合のみ、
  最大使用荷重は1.5ton×4台=6ton
- 滑車等を使用しない場合は、4点吊りであっても3点吊りと考え
  最大使用荷重は1.5ton×3台=4.5ton
  クランプの取り付け位置、スリングやワイヤの長さ等全てが一定であることが必要となります。
- アジャスターは必ずイーグル・クランプ社の純正品を使用してください。
  純正品の取り付けはボルト2点止めです。取付工具、六角レンチを使用してください。（販売）
- 取扱説明書を必ず熟読し操作方法等を全て厳守してください。



鉄筋吊りクランプ

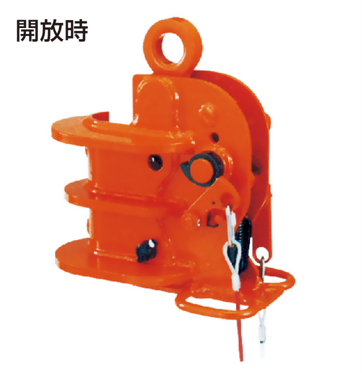
使用荷重 1.5 ton **製品質量** 10 kg **型番** CSBL-1.5

取扱説明書

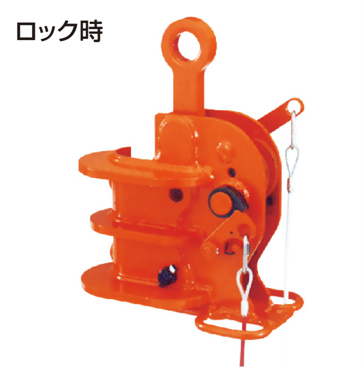
点検表

寸法図

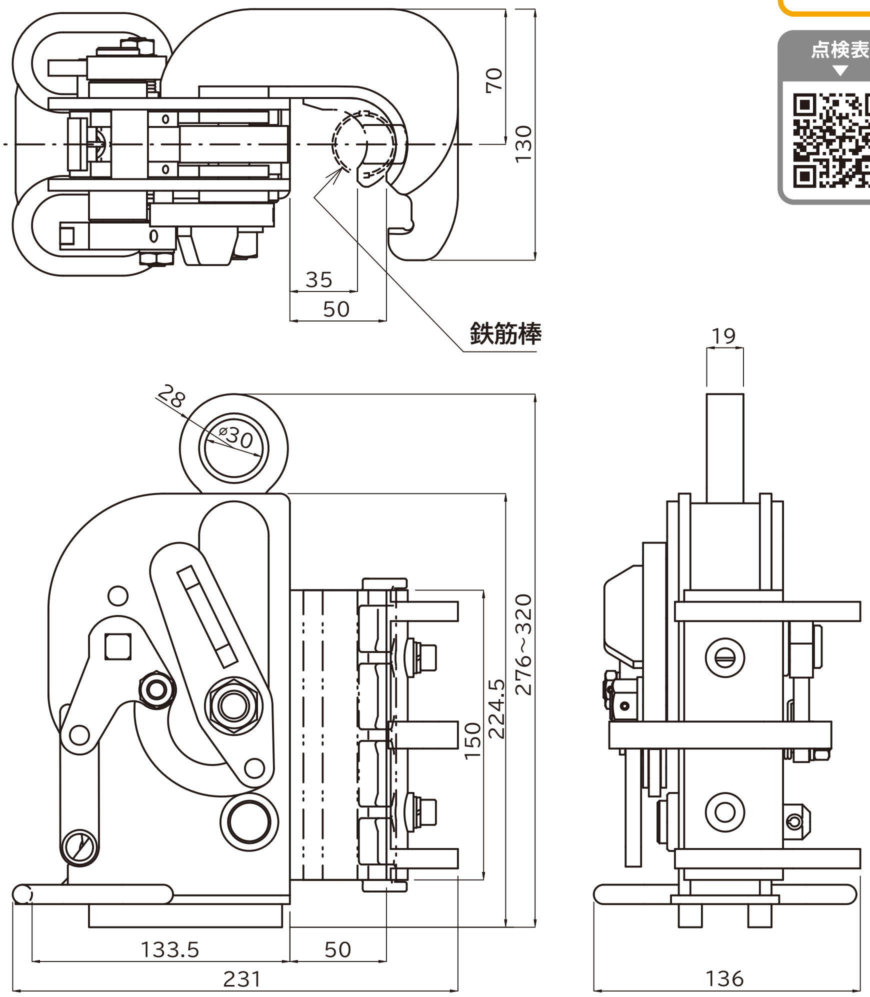
開放時



ロック時



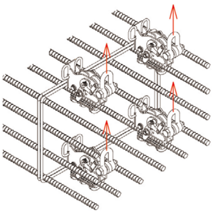
ロック解除用操作ワイヤ
通常6m（最長9m）


70
130
35
50
鉄筋棒
19
28
φ30
276~320
224.5
150
133.5
50
231
136

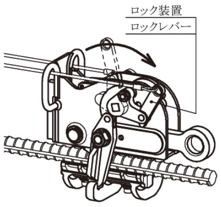
横向き吊り荷のクランプ取り付け方

建て起こしの際は、ロックレバー側を上にして取り付けてください。反対向きに取りつけると、クランプが回転し、カムが吊り荷から外れる（クランプされていない状態になる）恐れがあり危険です。

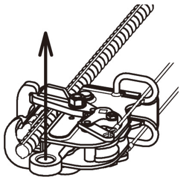
指示



指示

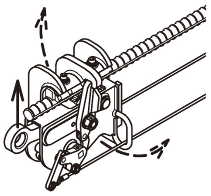

ロック装置
ロックレバー

禁止



逆向きも禁止

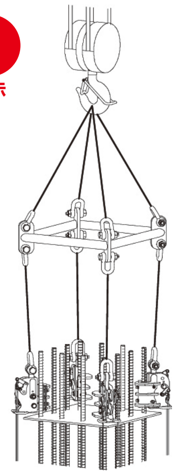
禁止



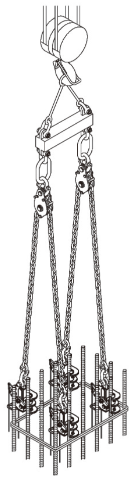
天秤の使用

多点吊りの場合は、クランプおよび吊り荷同士が干渉しないように、吊り荷の状況に合った天秤等を使用してください。

指示



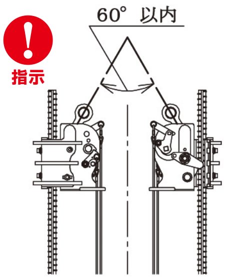
指示



吊り角度の厳守

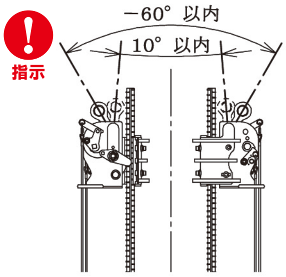
（垂直吊り状態における吊り角度は以下の許容範囲で行ってください）

指示



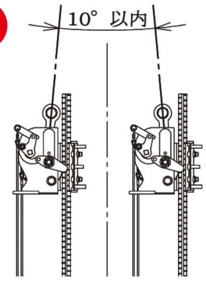
ロックスプリング側が
向き合っているときの
角度は60°以内。

指示



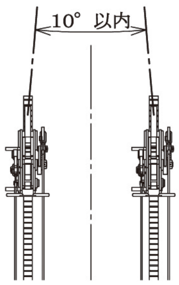
受け板側が向き合って
いるときの角度は
−60°～10°以内。

指示



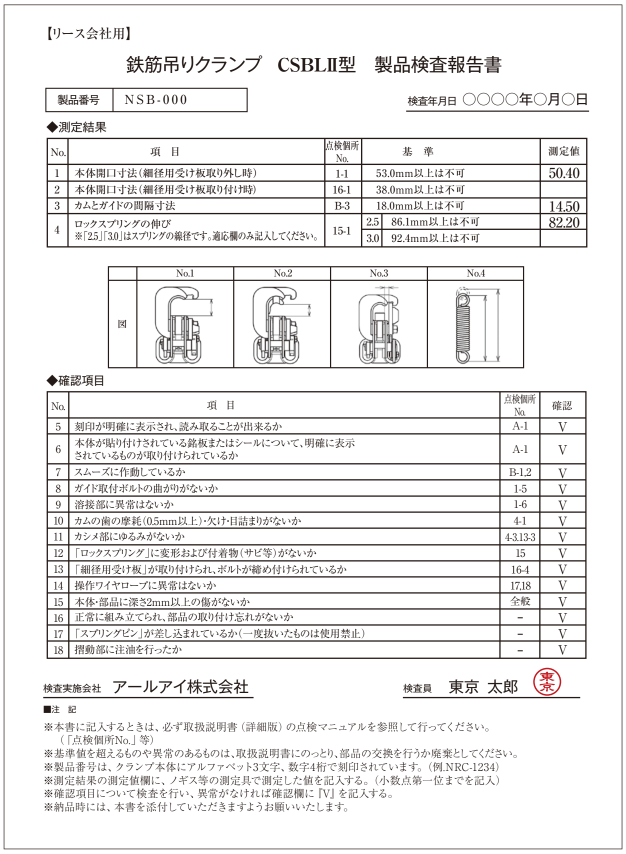
ロックスプリング側と
受け板側が
向き合っているときの
角度は10°以内。

指示



ガイドリンクユニット側と
レバーストッパーカム側が
向き合っているときの
角度は10°以内。

当社では必ず『製品検査報告書』を出荷時に提出します



【リース会社用】

鉄筋吊りクランプ　CSBLⅡ型　製品検査報告書

製品番号	NSB-000

検査年月日 ○○○○年○月○日

◆測定結果

No.	項　目	点検個所No.	基　準		測定値
1	本体開口寸法（細径用受け板取り外し時）	1-1	53.0mm以上は不可		50.40
2	本体開口寸法（細径用受け板取り付け時）	16-1	38.0mm以上は不可		
3	カムとガイドの間隔寸法	B-3	18.0mm以上は不可		14.50
4	ロックスプリングの伸び ※「2.5」「3.0」はスプリングの線径です。適応欄のみ記入してください。	15-1	2.5	86.1mm以上は不可	82.20
			3.0	92.4mm以上は不可	

	No.1	No.2	No.3	No.4
図				

◆確認項目

No.	項　目	点検個所No.	確認
5	刻印が明確に表示され、読み取ることが出来るか	A-1	V
6	本体が貼り付けされている銘板またはシールについて、明確に表示されているものが取り付けられているか	A-1	V
7	スムーズに作動しているか	B-1,2	V
8	ガイド取付ボルトの曲がりがないか	1-5	V
9	溶接部に異常はないか	1-6	V
10	カムの歯の摩耗（0.5mm以上）・欠け・目詰まりがないか	4-1	V
11	カシメ部にゆるみがないか	4-3.13-3	V
12	「ロックスプリング」に変形および付着物（サビ等）がないか	15	V
13	「細径用受け板」が取り付けられ、ボルトが締め付けられているか	16-4	V
14	操作ワイヤロープに異常はないか	17,18	V
15	本体・部品に深さ2mm以上の傷がないか	全般	V
16	正常に組み立てられ、部品の取り付け忘れがないか	−	V
17	「スプリングピン」が差し込まれているか（一度抜いたものは使用禁止）	−	V
18	摺動部に注油を行ったか	−	V

検査実施会社　アールアイ株式会社

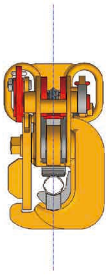
検査員　東京 太郎　東京

■注　記

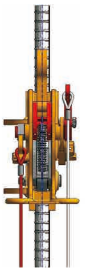
※本書に記入するときは、必ず取扱説明書（詳細版）の点検マニュアルを参照して行ってください。
（「点検個所No.」等）
※基準値を超えるものや異常のあるものは、取扱説明書にのっとり、部品の交換を行うか廃棄としてください。
※製品番号は、クランプ本体にアルファベット3文字、数字4桁で刻印されています。（例.NRC-1234）
※測定結果の測定値欄に、ノギス等の測定具で測定した値を記入する。（小数点第一位までを記入）
※確認項目について検査を行い、異常がなければ確認欄に『V』を記入する。
※納品時には、本書を添付していただきますようお願いいたします。

指示している取り付け方

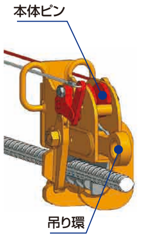
吊り荷の中心に
取り付ける



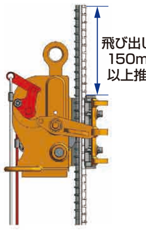
吊り荷の中心と
同一線上に
取り付ける



荷重を加えたとき、
吊り環が
本体ピンに当たる
向きに取り付ける

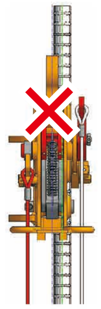


ロック装置を
確実に
セットする

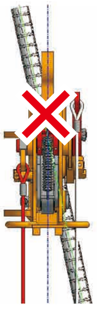


禁止とする取り付け方

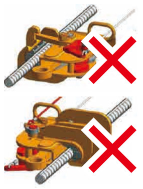
中心のズレ



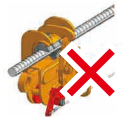
斜め取り付け



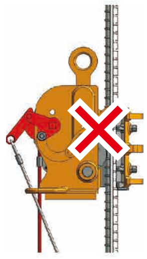
横向き取り付け



逆向き取り付け



ロック位置が
不完全

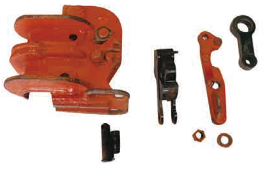


徹底した整備基準！

❶ 返却時

カムの歯の摩耗や欠け、各部変形等を検収します。
（摩耗や欠けがある場合交換します）

❷ 分解～磨き～清掃～塗装



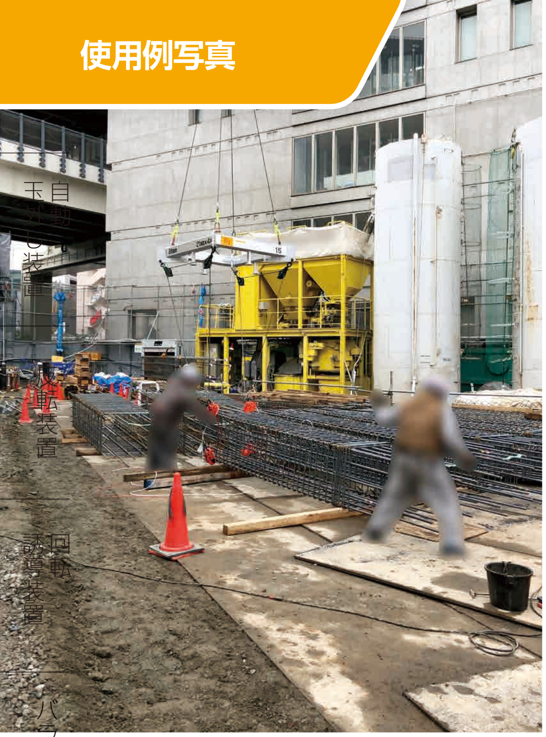
スプリングピンは毎回新しい物と交換します。

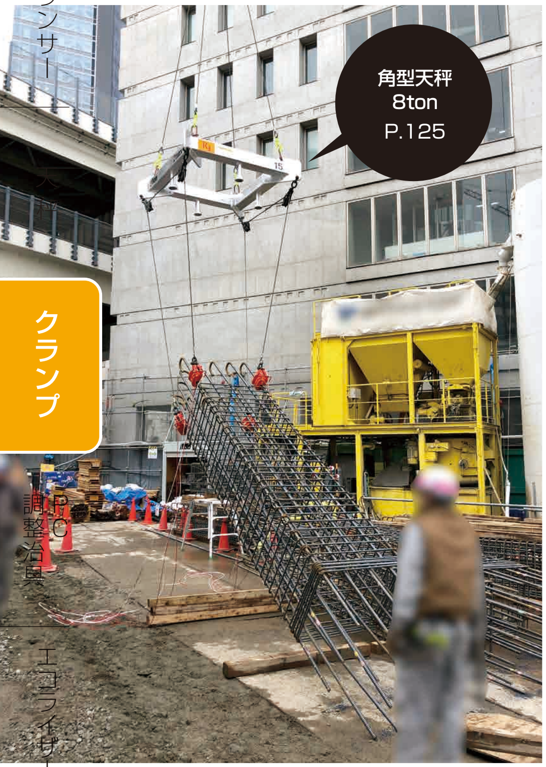
❸ 組み立て～測定～注油

スプリングピンが正しく差し込まれているか?稼動はスムーズか?等をチェック。開口部等測定します。

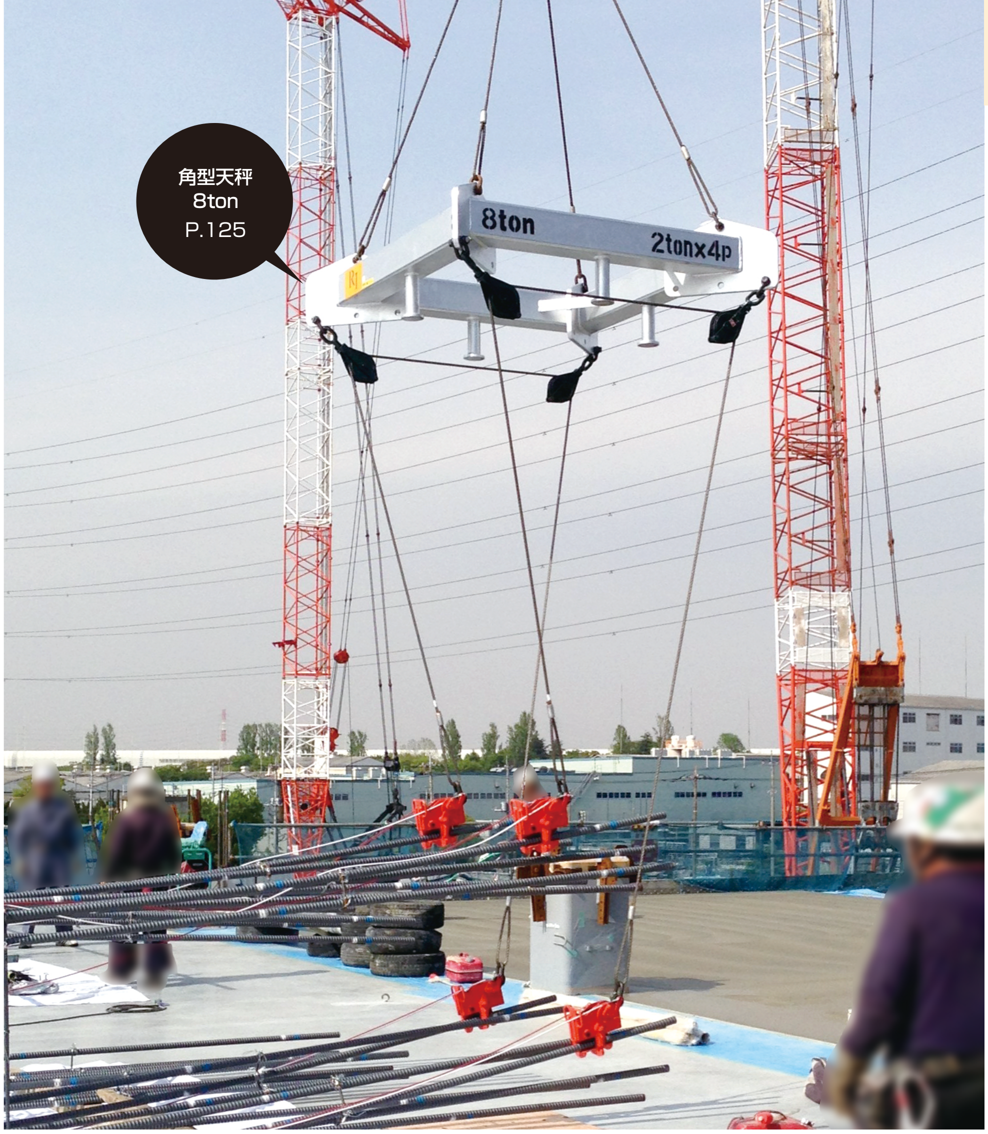
各部に注油し、注意確認シールを貼り、再度チェック。

測定値が安全基準を満たした製品のみ出荷!

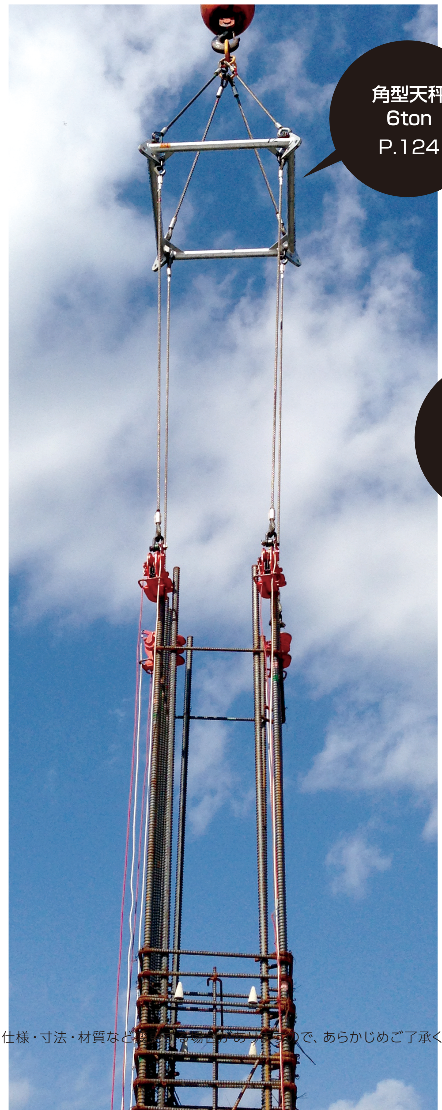




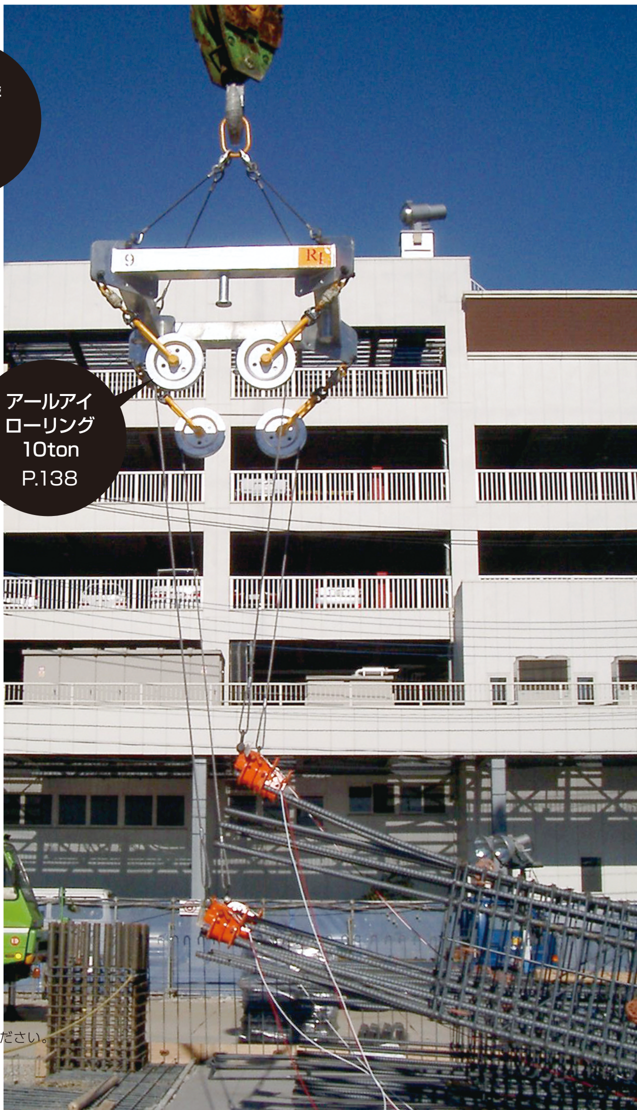
角型天秤
8ton
P.125



角型天秤
8ton
P.125



角型天秤
6ton
P.124



アールアイ
ローリング
10ton
P.138

本商品の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。